

第197期

第2四半期 株主通信

平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日

ダイトウボウ株式会社

証券コード：3202

INTERIM
BUSINESS
REPORT

daitobo

『発想力を活かし無限大の可能性へ』

since 1896



代表取締役社長 山内 一裕

株主の皆様には平素より格別のご高配とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第197期第2四半期（平成28年4月1日～平成28年9月30日）の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

中期経営計画の進捗状況

当社グループは、今年度から「中期経営計画 Bridge to the Future ～未来への架け橋～」をスタートさせ、以下の6つの主要戦略に取り組んでおります。

- 商業施設事業：ライバルを凌駕するポジションを持続させ競争優位を固める
 - ヘルスケア事業：健康長寿社会への貢献をテーマに協業を推進
 - 繊維・アパレル事業：構造改革後の事業再構築
 - 財務戦略：長期安定資金の調達と各種財務目標の達成
 - 企業統治：コーポレートガバナンス・コードに沿った経営推進
 - 人材戦略：社会貢献できる人材の育成
- これらの戦略推進により、「財務体質の強化」「プロパー事業の強固な基盤作り」「利益の底上げ」を成し遂げる所存でございます。

まず「財務体質の強化」では、平成28年度第1四半期において既存借入金の全額を長期のシンジケートローンによる借り換えで安定的な長期資金を確保するなど、中期経営計画で目標とする財務諸指標を着実に達成しつつあります。

次に「プロパー事業の強固な基盤作り」では、商業施設事業において、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」でキッズ向けイベントの強化やより魅力的なテナントの誘致などに注力し、集客力の増強に取り組みました。ヘルスケア事業においては、猛暑を営業機会と捉え当社独自技術を活用した夏用健康素材「バイオ麻」などの商品の拡販に注力しました。繊維・アパレル事業においては、構造改革によりスリム化し採算性が向上した事業の収益増強に努めました。

最後に「利益の底上げ」では、前期に実施した「繊維・アパレル事業の構造改革」により売上高は前期比減少となるものの、損益面では採算性向上や経費削減の効果が現れつつあります。

こうした取り組みの効果もあり、平成28年8月10日付で「平成29年3月期第2四半期（累計）および通期の連結業績予想の修正」にて、営業利益で50%増益などの連結業績予想の修正を公表いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高においては商業施設事業が順調に推移いたしましたものの、前期に実施した「繊維・アパレル事業の構造改革」による減収が響き、売上高は22億78百万円（前年同期比18.9%減）となりました。一方、損益面では、構造改革に伴う粗利率の改善効果や販売管理費の削減効果などがあるものの、売上高の減少による売上総利益の減少が響き、営業利益は1億98百万円（前年同期比5.2%減）、シンジケートローン実行に伴う当初費用の負担などにより経常利益は93百万円（前年同期比26.2%減）、さらに、中国投資に関連して持分を売却したことによる特別利益計上はあったものの、シンジケートローン実行に係る借入金の中途解約損失などの特別損失や法人税等の負担を考慮した親会社株主に帰属する四半期純利益は63百万円（前年同期比63.3%減）と、減収減益の黒字決算となりました。

なお、セグメント別業績につきましては、後記「セグメント別事業概要」をご参照ください。

通期の業績予想について

当第2四半期累計期間の連結業績は、業績予想に対して営業利益で32%増益となるなど、各段階で業績予想を上回る増収増益となりました。このため、平成28年11月9日付で「平成29年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異に関するお知らせ」を公表いたしました。ただし、下期における市況が不透明であることから、通期の業績予想につきましては、平成28年8月10日付公表の業績予想を据え置くことといたしました。

最後に

当社は、当第2四半期におきまして、継続企業の前提に関する重要事象等の記載解消、株式時価総額に係る猶予期間の解除をいたしました。これもひとえに株主の皆様のご理解とご支援のおかげであり、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。また、eコマース事業への参入、株主優待制度の導入など新しい取り組みも積極的に進めております。さらに、既にご案内のとおり、平成28年9月1日付で、120周年を機に商号を「ダイトウボウ株式会社」に改め、新しいシンボルマークも制定いたしました。今後は、一段とスピード感を持って企業価値の向上に取り組み、経営理念である「進取の精神」「自利利他の心」に基づく新たな明日を創ってまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、何卒倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

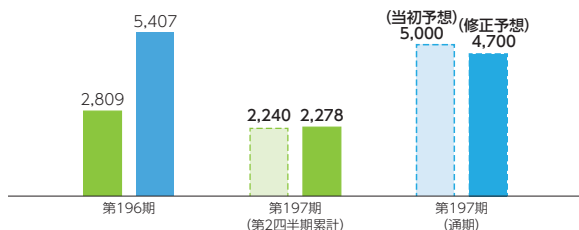


当第2四半期連結累計期間の業績の概況について

連結財務ハイライト

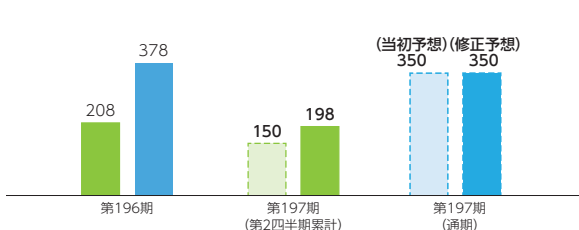
■ 売上高

2,278百万円
 前年同期比 18.9%減
 業績予想比 1.7%増



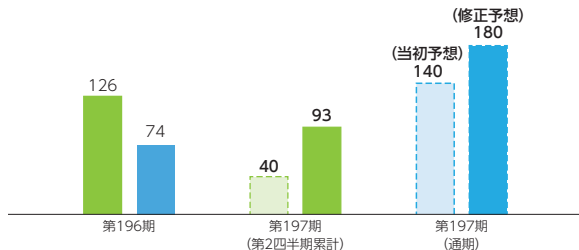
■ 営業利益

198百万円
 前年同期比 5.2%減
 業績予想比 32.0%増



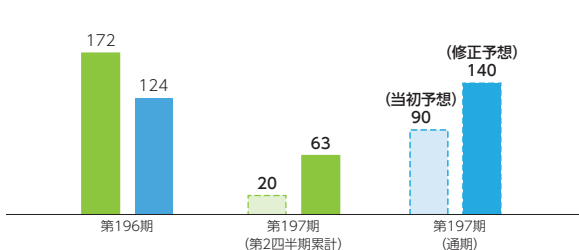
■ 経常利益

93百万円
 前年同期比 26.2%減
 業績予想比 132.8%増



■ 親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

63百万円
 前年同期比 63.3%減
 業績予想比 216.8%増



(注)1. 上記予想は発表日現在で入手可能な資料に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 修正予想の数値については、平成28年8月10日付で「平成29年3月期第2四半期（累計）および通期の連結業績予想の修正」にて、公表したものです。

■ 概況

静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」の業績は堅調に推移したものの、前期に実施した「繊維・アパレル事業の構造改革」による減収が響き、売上高は22億78百万円（前年同期比18.9%減）となり、営業利益は1億98百万円（前年同期比5.2%減）、経常利益は93百万円（前年同期比26.2%減）、これに法人税等の負担を考慮した親会社株主に帰属する四半期純利益は63百万円（前年同期比63.3%減）となりました。

計画比におきましては、計画段階で一過性のシンジケートローンに係る諸費用を織り込んでいたことなどから、売上高は商業施設事業が引き続き順調に推移していることを

主に計画比1.7%増となり、損益面では、本社移転費用などの販売管理費が予想以上に削減できたこともあり、営業利益は計画比32.0%増、経常利益は計画比132.8%増、親会社株主に帰属する四半期純利益は計画比216.8%増と各段階で、計画を上回りました。

■ 通期の見通し

当第2四半期累計期間業績予想を実績が上回ったため、業績予想と実績の差異を公表いたしました。下期における消費者マインドが弱含むこともあり得るなど市況が不透明であることから、通期の業績予想につきましては据え置きました。

セグメント別事業概要

商業施設事業



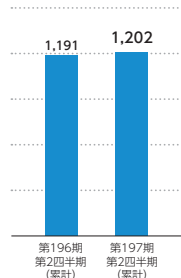
・ショッピングモール

心地よい生活文化を提案し続けるダイトウボウの商業施設。「お客様に喜ばれる空間づくり」を基本ビジョンに、豊かな生活空間を提供してまいります。

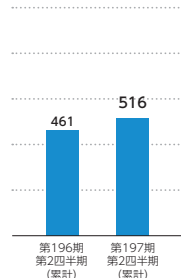
当第2四半期の業況

商業施設「サントムーン柿田川」において、映画のヒットやイベント強化など集客確保に努めたこともあり、前年同期比増収増益となりました。

売上高
(百万円)



セグメント営業利益
(百万円)



ヘルスケア事業



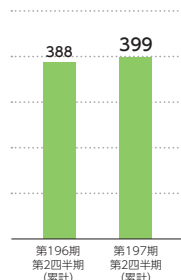
- ・健康素材関連
- ・家庭用医療機器
- ・健康食品
- ・一般寝装品

高齢化の進展と健康意識の高まりに応じて、当社独自技術の商品を活かして、お客様の健康で快適な生活をサポートします。当社グループの国内生産拠点の高い技術力が強みです。

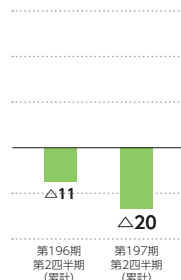
当第2四半期の業況

家庭用温熱電位治療器などが順調に売上を伸ばしたものの、原料高や販売管理費の増加が響き、前年同期比増収減益となりました。

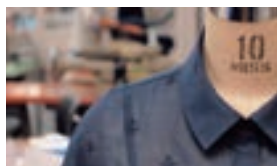
売上高
(百万円)



セグメント営業利益
(百万円)



繊維・アパレル事業



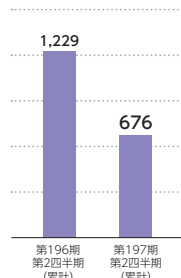
- ・官・民ユニフォーム
- ・生産管理型OEM
- ・ニット企画

ダイトウボウは「お客様に喜ばれるモノづくり」を基本ビジョンとして、アパレルファッションからユニフォームまで幅広くお客様のニーズに応じてまいります。

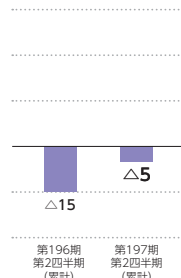
当第2四半期の業況

繊維・アパレル事業の構造改革に伴う一部事業撤退により売上高は前年同期比減収となりましたが、販売管理費削減効果があり、営業損失は改善しました。

売上高
(百万円)



セグメント営業利益
(百万円)



決算レビュー

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当第2四半期末 平成28年9月30日現在	前期末 平成28年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	2,461,288	1,856,216
固定資産	16,722,366	17,140,028
有形固定資産	15,886,260	16,060,922
無形固定資産	11,300	12,995
投資その他の資産	824,805	1,066,110
資産合計	19,183,655	18,996,244
(負債の部)		
流動負債	1,462,049	4,561,660
固定負債	13,454,185	10,134,269
負債合計	14,916,234	14,695,929
(純資産の部)		
株主資本	△752,548	△ 815,826
資本金	1,500,000	1,500,000
資本剰余金	503,375	503,375
利益剰余金	△2,748,799	△ 2,812,168
自己株式	△ 7,124	△ 7,033
その他の包括利益累計額	5,019,969	5,116,141
純資産合計	4,267,420	4,300,315
負債純資産合計	19,183,655	18,996,244

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 (累計) 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	前第2四半期 (累計) 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
売上高	2,278,141	2,809,659
売上原価	1,621,289	2,114,240
売上総利益	656,852	695,419
販売費及び一般管理費	458,840	486,537
営業利益	198,011	208,881
営業外収益	54,054	63,524
営業外費用	158,936	146,265
経常利益	93,129	126,140
特別利益	109,743	64,814
特別損失	107,257	—
税金等調整前四半期純利益	95,615	190,954
法人税、住民税及び事業税	30,040	18,481
法人税等調整額	2,206	△216
四半期純利益	63,368	172,689
親会社株主に帰属する四半期純利益	63,368	172,689

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 (累計) 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	前第2四半期 (累計) 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,233	△462,301
投資活動によるキャッシュ・フロー	359,260	109,218
財務活動によるキャッシュ・フロー	294,034	240,780
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,296	△132
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	710,232	△112,435
現金及び現金同等物の期首残高	687,297	919,966
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,397,529	807,531



代表取締役社長
山内 一裕

新社名・グループシンボル、および本社移転のご案内

当社は会社創立120周年を機に、平成28年9月1日をもって
新社名・グループシンボルを制定、および本社を移転いたしました。

■ **新社名** **ダイトウボウ株式会社** 英文表記 **Daitobo Co.,Ltd.**

■ **グループシンボルの制定**

daitobo

グループシンボルのテーマ

『**発想力を活かし無限大の可能性へ**』

末尾の「bo」は無限大「∞」をモチーフとしてシンボル化。
持続的發展を通じ、人々の豊かな生活に寄与する企業としての信条を表現しています。
また「i」の文字を人に見立て、頂点の「●」は柔軟な発想力のアタマをイメージ。
そんな人材の集合が当社グループの明日を創っていく、といった想いを込めました。
当社ならではの「発想とヒト」を武器に企業価値を向上させていきます。

■ **本社移転先**

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目6番1号 丸柏タマビル7階
☎03 (6262) 6565

平成28年8月24日開催の取締役会において、株主優待制度の導入を決議いたしました。

1 対象となる株主様

毎年3月末日現在の株主名簿に記載または記録された、
1単元（1,000株）以上を継続して6か月以上保有されている株主様を対象といたします。

2 株主優待の内容

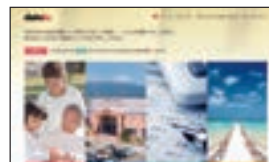
保有株式数（継続保有期間6か月以上）	優待の内容
1,000株以上2,000株未満	2,000円相当の品
2,000株以上	4,000円相当の品

開始時期 および方法

平成29年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元（1,000株）以上を継続して6か月以上保有されている株主様を対象に開始いたします。
なお、発送時期は定時株主総会終了後を予定しております。

IRインフォメーション

当社ホームページでは決算短信や有価証券報告書をはじめ、
最新の財務情報・適時開示情報等のIR情報を掲載しております。是非ご覧ください。
<http://www.daitobo.co.jp/ir/>



会社概要 / 株式の状況 (平成28年9月30日現在)

会社概要

創立	明治29年2月27日
資本金	1,500,000,000円
事業所	東京都中央区日本橋本町1丁目6番1号(丸柏タマビル) ☎ 03(6262)6565
名古屋営業所	愛知県一宮市本町4丁目17番9号(明治産業第2ビル) ☎ 0586(23)4811
大阪営業所	大阪市中央区南久宝寺町2丁目3番6号 ☎ 06(6262)8322
グループ会社	大東紡エステート株式会社 新潟大東紡株式会社 上海大東紡織貿易有限公司 寧波杉京服飾有限公司(持分法適用会社)

役員状況

代表取締役社長	山内 一 裕
代表取締役副社長	野村 利 泰
取締役執行役員	三枝 章 吾
社外取締役	澤田 康 伸
取締役監査等委員	加久間 雄 二
社外取締役監査等委員	飯沼 春 樹
社外取締役監査等委員	鏡 高 志
社外取締役監査等委員	奥村 秀 策

- (注) 1. 澤田康伸氏、飯沼春樹氏、鏡 高志氏および奥村秀策氏は社外取締役(独立役員)であります。
2. 監査等委員4名をメンバーとする監査等委員会を設置しております。

株式の状況

発行可能株式総数	96,000,000株
発行済株式の総数	30,000,000株
株主総数	6,085名

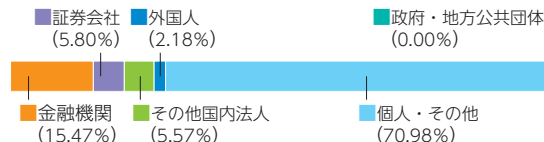
大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
三井住友信託銀行株式会社	1,478	4.93
株式会社SBI証券	716	2.39
三井住友海上火災保険株式会社	610	2.03
株式会社デベロッパース三信	550	1.83
肥田 篤	516	1.72
楽天証券株式会社	514	1.71
小泉 芳夫	499	1.66
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口5)	352	1.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	339	1.13
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口6)	325	1.08

(注) 持株比率は自己株式(67,498株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布

(持株比率)



株主総数6,085名

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告方法 電子公告により公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載して行う。

ダイトウボウ株式会社

<http://www.daitobo.co.jp/>

本冊子に関するお問合せ先 経営管理本部 TEL: 03-6262-6565

